



薩 建 政 第 5 8 0 号
平成 2 0 年 1 0 月 1 7 日

国土交通省道路局長 殿

薩摩川内市長 森 卓 朗



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成 2 0 年 9 月 1 9 日付けの国道企第 3 7 号で依頼のありました件について
別紙のとおり意見・提案を提出いたしますので、よろしくお願いいたします

《問合せ先》

薩摩川内市 建設部 建設政策課

担当：蓮香（ハスカ）、山内

鹿児島県薩摩川内市神田町 3 番 2 2 号

TEL：0996-23-5111（内線 3121）

FAX：0996-23-8389

今後の道路行政についての意見・提案

様式1

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

鹿児島県 薩摩川内市

- ① 平成21年度から道路特定財源が一般財源化されることから、今後の道路整備の進捗にも重大な影響がないか心配しているところである。
本市を含め、都市部に比べ公共交通機関の整備状況が劣悪で利用しづらい地方部は必然的に自動車利用に依存せざるを得ないなど、地域の実情に十分配慮し、地域のために真に必要な道路整備が遅れることなく計画的に進められるよう、安定的な財源の確保に努めていただきたい。
- ② 平成19年度における地方からの「道路特定財源に関する声」はマスコミも含め都市部住民からなかなか理解を得られなかったことから地方部における道路整備に対する切実な要望について都市部にも理解いただけるよう広く情報やPRを発信していただきたい。

【事業評価についての提案】

①費用面

道路整備に関する事業費について、都市部は地方部に比べ地価が高いことから用地費、建物移転補償費で多額の費用を要している。また都市部では鉄道等の公共交通網など多様な交通手段を有している。よって交通基盤整備に要した投資額の比較を論じることにより地方での道路整備について理解を得たい。

《都市部》

《地方部》

$$\begin{array}{ccc} \text{※1} & & \text{※2} \\ (\text{道路建設費}) + (\text{用地費, 移転補償費, } \alpha) + (\text{鉄道などの公共交通機関建設費}) & > & (\text{道路建設費}) + (\text{用地費, 移転補償費}) \end{array}$$

※1 建設費については都市部、地方部 同程度のコスト

※2 用地費、移転補償費は都市部がコスト高(α:市街地工事のための必要仮設費等)

②便益面

道路の交通分担率として主要地方道などの幹線道路については沿道集落など当該道路にて交通を依存している沿道居住面積(km²)を道路面積(km²)で除した指数を用いて地方生活での道路依存度の高さを明示できないだろうか。
(なお道路以外の交通手段を有する地域については沿道居住面積を減ずる係数を乗ずるなどして…)

今後の道路行政についての意見・提案

様式2

②－1 地域の現状と抱える課題

鹿児島県 薩摩川内市

○現状

《広域を連携する道路》

県内の国際物流拠点港湾にも位置づけられている重要港湾「川内港」は、中国や東南アジアに開かれた南九州の玄関口として一層の発展するために南九州西回り自動車道との連携が不可欠である。

《都市機能を高める道路》

南九州西回り自動車道供用開始に伴い、既存アクセスへの交通集中が高まってきたため、交通分散化と交通利便性の向上化を担った新たなアクセス道が必要になってきた。

《中心市街地における道路》

本市中心市街地は、東西を一級河川川内川に、南北を鉄道に分断されているため車両等の自由な通行に制約をうけており、不十分な交通連携による慢性的な交通渋滞が発生している。

《日常生活を支える道路》

住宅街など人口密集地における通学路で歩道の整備等が不十分なため交通安全の確保が図られていない箇所がある。

《圏内を結ぶ道路》

市町村合併により、生活圏の広域化など人や物の交流経路に変化が生じてきた。

○課題

《広域を連携する道路》

・海上輸送と陸上輸送の連携のために南九州西回り自動車道の一日も早く全線開通し、川内港と高速交通ネットワークと結節させる必要がある。

《都市機能を高める路線》

・県道バイパス((仮称)宮崎バイパス)として整備構想はあるものの、昨今の厳しい財政状況により事業化の可否を含め着手時期が全く不透明である。

《中心市街地周辺の道路》

・交通支障区間の解消に努め、市街地に集中しがちな交通量の分散化を図る必要がある。

《日常生活を支える路線》

・街中においては、今後の高齢化社会にも対応したユニバーサルデザインのもとに安全で安心な道路整備を進める必要がある。

《圏内を結ぶ路線》

・地域住民の意見を聴きながら、効果的・効率的に圏内を結ぶ道路を整備する必要がある。

②－2 地域の目指すべき将来像

鹿児島県 薩摩川内市

本市将来都市像

『市民が創り 市民が育む 交流躍動都市』 ……第一次薩摩川内市総合計画(H18.3策定)

【交流】

南九州西回り自動車道を高速交通体系の軸として、主要幹線道路、都市内幹線道路などの交通ネットワークの強化を図ることにより、本市内外との交流・連携を活発化させ、北薩地域の中心都市として拠点機能の充実と躍動する交流拠点都市づくりを目指す。

今後の道路行政についての意見・提案

様式4

③ 道路施策の重点事項(代表事例, 期待する効果や評価等)

鹿児島県 薩摩川内市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
■地域活力の向上	・南九州西回り自動車道の整備促進	・川内港との連携による貿易の拡大 ・本市を含め北薩地域で生産される農水産物の流通拡大化 ・通勤・通学圏の拡大化による定住化促進 ・企業誘致や観光振興の促進 ・川内港の利用促進 など	・将来的に川内港を介した甕島との交通連携(海を越えた合併)
■都市交通の快適性・利便性の向上	・市道横馬場田崎線の道路改良	・鉄道で分断された市街地東西間の交通制約(高さ)の解消	・九州新幹線全線開業にそなえた交通結節機能強化
■総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・南九州西回り自動車道の整備促進 ・主要地方道川内串木野線, 京泊大小路線の道路改良 など	・搬送時間短縮化による救急救命率の向上 ・川内原子力発電所のシビアアクシデント時の避難路としての利用 ・インターチェンジ付近の交通安全の確保	・複数ルートでの避難路確保